

加藤弘之 かとう ひろゆき 國法學者、法學・文學博士。天保七年六月二十三日
但馬國生れ、大正五年二月九日歿（八三六—一九三六）。幼名成之助、誠士。
士代士、弘藏。筆名人權新説著者、加藤弘藏、加藤疑堂、左琴、藤原
弘之、谷山樓主人等。佐久間象山等の學び、ドイツ學の先驅を爲す。
著書調所教官を経て維新後明治政府に出任。東京大學總理、帝國大學
總長、貴族院議員、樞密顧問官、帝國學士院院長等を歴任。男爵。初
の大賦人權説を主張し、のちに轉じて民權論と對立した。

著譯書 『民撰議院集説』（合著・櫻井忠徳編、明治七年七月奥田氏藏
版、文寶堂）、『國體新論』（明治八年谷山樓藏梓、裕田佐兵衛發兌）、
カハ、ビーデルマン著 『各と憲政體起の史』（譯、第一冊—總論、
第二冊—佛國部、明治八年十月谷山樓藏梓、裕田佐兵衛發兌）、『立

憲政體略』（明治九年二月十四日版權免許、谷山樓藏梓、中外堂）、
『明治の大家又鈔』全二冊（合著・岡文二編、明治十二年四月二十五

日山中市兵衛刊）、『人權新説』（再版、明治十五年十一月谷山樓藏
版、山城屋佐兵衛他發賣）、『雄辯
大家實地演説筆記・上卷』（合著、明治

二十年六月一日内山龜太郎編刊、京政進堂・鶴聲社發兌）、『哲學汎
論』（合著・菅野幹編編并評、明治二十年十月大阪・林竹二郎出版）

哲學書房、西島捨次郎
巖谷堂本店發兌、政治
社會 大家演説集』（合著、明治二十
年十一月十日澤富太郎編刊、山林喜右衛門
飯塚書店發兌）、『雄辯
大家實地演説集』

（合著・櫻井謙造編、明治二十一年二月一日石川傳吉刊、正文堂發兌）、

『強者の權利の競争』（明治二十六年十一月二十

九日哲學書院）、『五千名家話録』（合著・平田

晉仙撰、明治二十一年十月十二日平田勝馬刊、鐵



華書院) 、 『男女學生氣質(附學生消夏法)』 (合著・新ハ論社一高島
大圓編、明治二十九年二月) 、『千九百鶴聲堂(書店)』、『吾國體と基督教』
(明治四十年八月) 、『千八百金港堂書籍株式會社』、『法青年諸君』 (合
著、明治四十二年四月十日大益堂書店) 、 『自然と倫理』 (二版・明
治四十五年五月十五日實業之日本社) 、 『昭憲皇太后と佛敎』 (合著
・法藏館編輯局纂、大正二年五月十五日京都・法藏館) 等。
文獻、渡瀬常吉著 『國體と基督教一加藤博士の所論を駁す』 (明治四
十年十一月一日警醒社書店) 、 龜谷天尊著 『吾國體と宗教一加藤博士
の所論を駁す』 (明治四十一年一月十五日名教社) 、 田畑忠著 『明治
政治思想史研究・第一冊一加藤弘之「天賦人權論と社會的ダーヴン」
カム』 (昭和二十一年十月一日京都・關書院) 、 同 『加藤弘之』 (昭
和二十四年七月) 、『千五百吉川弘文館「人物叢書」』 等。